

## トンボ渡りよりエントリー③

謎の三角  
〇〇〇

# 深海に沈む！お宝コース

「え～！ LOG 前にお宝？」 そう！ 時価 100 万円相当のお宝が沈んでいます！ あれは平成 7 年ある日の出来事、社長が現役バリバリの土建屋の専務だったころ、同業者の作業台船（クレーン付きの大き船）を引き連れポートダイビングポイントに固定アンカーを設置した。「天徳礁」に一つ「白栗」に一つ「白栗 X」に一つ…「おおー二つ余った！」ここで土建屋の専務三田村は考えた！「LOG 前沖とトンボ沖に入れてしまえ！」ということで、製作費 + 据付費合計約 100 万円の三角テトラ（8 ~ 10t 級）が LOG 前沖とトンボ沖にあるという訳で、このコースはトンボ渡り沖の三角テトラを回るコースです。 ※このテトラは要らなくなった古いテトラを県と漁協に承諾を得て行った行為です。あしからず！！

最大水深	平均水深	移動距離（往復）
約 22m	約 12m	約 250m
目安潜水時間		難易度
約 35 ~ 45 分		★★★☆☆

※難易度は☆1 ~ ☆5 まで。☆の数が多いほどレベルが高い



## 潜り方アドバイス

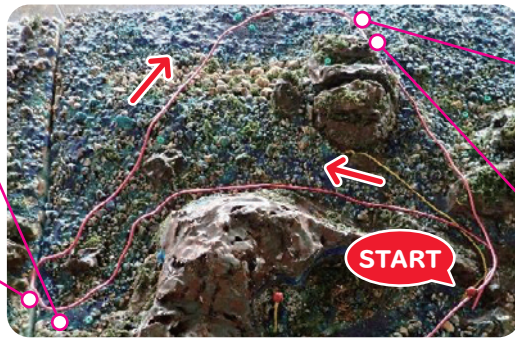
トンボ渡り潜行パイ→トンボの瀬裏側「オーバーハング（通称：ウミウシ壁）」→三角テトラ→「抜け道水路」を通るコースです。OH はトンボの瀬を左壁に進むと壁が△形になっています。OH より三角テトラに一直線に進むのが難しい場合は、いったんトンボ隠れ根「通称：カメ岩」まで戻り、隠れ根の沖先端より更に沖（コンパス約 200 度）に約 15m 進むと水深 20m 辺りにあります。 ※水深 24m まで行った場合は行き過ぎです！ 速やかに逆方向し戻って下さい。



OH に居たアデヤカミノウミウシ



OH は高さ 4m、左右に 5 ~ 6m



巨大な中空三角テトラ



テッペン水深 18m！  
OW ダイバーでも OK！

## トンボ渡りよりエントリー④

ドロップ  
オフ

# トンボ「一の瀬」一周コース

トンボ渡り沖の一番大きな岩「一の瀬」を一周回るコースです。このコースでの醍醐味は、隣の「二の瀬」との間にある「一・二の谷」です。浅場の棚より沖合に谷のように墮ちる「一・二の谷」は、水の澄んだポイントです。もう一つの見せ場は、「一の瀬」の沖側の壁がドロップオフに墮ちこみ、縦にある亀裂にはメバルやメジナが数多く見られ、水深 15m の壁にはウミウチワが生育しています。

最大水深	平均水深	移動距離（往復）
約 23m	約 12m	約 230m
目安潜水時間		難易度
約 30 ~ 40 分		★★☆☆☆

※難易度は☆1 ~ ☆5 まで。☆の数が多いほどレベルが高い



## 潜り方アドバイス

トンボ渡りの潜行パイより右斜め沖（コンパス 250 度）に向かって進むと「一の瀬」に当たります。その後「一の瀬」の左壁に沿って進みますが、一番の関門は「一の瀬」と「二の瀬」の棚に上がる入口です。入口というより、広場に上がる！といったイメージです。「一の瀬」の水深は -6m 位なので、少し浅めの -3m 位をキープした方が見つけやすいです。谷を下りきった沖合は水深 23m 「通称：ディープゾーン」と深いためエアーの注意が必要です。EX ポイントに戻る際に「抜け道水路」が分からない場合は、「一の瀬」に沿って戻ってくることをオススメします。



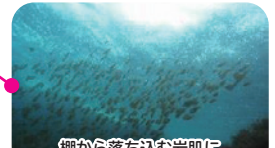
一の瀬沖のディープゾーン！  
30m 超えの透明度



一の瀬水底近くのオーバーハングには  
ウミウチワが生育



一・二の谷の間の浅瀬には  
いつもお魚がいっぱい！



棚から落ち込む岩肌には  
群れを成すメバル